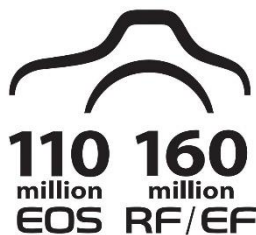


**レンズ交換式カメラ EOS シリーズが累計生産台数 1 億 1,000 万台・
交換レンズ RF/EF レンズシリーズが累計生産本数 1 億 6,000 万本を達成**

キヤノンのレンズ交換式カメラ EOS シリーズの累計生産台数が、2023 年 3 月に 1 億 1,000 万台^{※1}、EOS シリーズ用の交換レンズである RF/EF レンズシリーズの累計生産本数が、2023 年 5 月に 1 億 6,000 万本^{※2}を達成しました。また、1 億 1,000 万台目に生産したカメラは「EOS R6 Mark II」（2022 年 12 月発売）、1 億 6,000 万本目に生産したレンズは「RF100mm F2.8 L MACRO IS USM」（2021 年 7 月発売）でした。



記念ロゴマーク



1 億 1,000 万台目に生産した
「EOS R6 Mark II」



1 億 6,000 万本目に生産した
「RF100mm F2.8 L MACRO IS USM」

1. 「快速・快適・高画質」を追求し 1 億 1,000 万台の累計生産台数を達成した EOS シリーズ

EOS とは「Electro Optical System」の略称で、ギリシャ神話の「曙の女神」の名でもあります。EOS シリーズは、世界初の完全電子マウント方式を採用した銀塩フィルム式の AF 一眼レフカメラとして、交換レンズの EF レンズとともに 1987 年 3 月に誕生しました。その後、デジタル一眼レフカメラの普及に大きく貢献した「EOS Kiss Digital」（2003 年）や、プロ向けの「EOS-1D」シリーズ、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた「EOS 5D」シリーズなど時代を切り開く製品を市場に投入してきました。そして、2018 年には次世代のイメージングシステム「EOS R SYSTEM」を立ち上げるなど、新しい映像表現の可能性を追求し続けています。多様なニーズに応える魅力的な製品ラインアップの拡充に努めることで、EOS シリーズは長年に渡り多くのユーザーから支持を得てきました。その結果、2003 年から 2022 年までの 20 年連続でレンズ交換式デジタルカメラ世界シェア No.1^{※3}を獲得するとともに、2023 年 3 月に 1 億 1,000 万台の累計生産台数を達成しました。

2. 先進のイメージング技術を強みに 1 億 6,000 万本の累計生産本数を達成した RF/EF レンズシリーズ

1987 年に EOS と同時に誕生した EF レンズは、「USM（Ultrasonic Motor=超音波モーター）」や「IS（Image Stabilizer=手ブレ補正機構）」、「DO（Diffractive Optics=積層型回折光学素子）」など、世界初^{※4}となるさまざまな技術を搭載するなど進化を続け、業界をリードし続けてきました。そして、2018 年に立ち上げた「EOS R SYSTEM」の特長である大口径・ショートバックフォーカス・高速通信システムの採用により、かつてない高画質を実現する「RF レンズ」が加わることで、レンズ全体で合計 115 種類^{※5}の豊富なレンズラインアップを形成し、撮影領域を拡大してきました。その結果、新たなマイルストーンとして、2023 年 5 月に累計生産本数 1 億 6,000 万本を達成しました。

キヤノンは、これからも独自の映像技術に磨きをかけ、EOS シリーズを RF/EF レンズシリーズとともにさらに強化・拡充することで、新たな映像領域を切り開き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1. 銀塩（フィルム）とデジタルの双方を合わせた累計生産台数。映像制作用のシネマカメラを含む。

※2. EF レンズ、EF-S レンズ、RF レンズ、RF-S レンズ、EF-M レンズ、EF シネマレンズ、エクステンダーを含む。

※3. 台数シェアにおいて。（キヤノン調べ）

※4. 一眼レフカメラ用交換レンズにおいて。（キヤノン調べ）

※5. 市場により、販売しているレンズの種類数は異なります。エクステンダー-4 種含む。2023 年 6 月 28 日時点で発表済みのレンズにおいて。

< EOS シリーズについて >

EOS シリーズは、世界初の電子マウント方式を採用し、システム全体の完全電子制御化を実現した新世代の AF 一眼レフカメラとして、1987 年 3 月に初号機「EOS 650」が誕生しました。

銀塩カメラ全盛期の 1989 年にはプロ向けの最高級機「EOS-1」、1993 年には小型・軽量を実現してユーザー層の裾野を広げた「EOS Kiss」などを発売し、お客様の幅広いニーズに応えてきました。デジタル一眼レフカメラ黎明期の 2003 年には画期的な小型・軽量と低価格を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売し、市場拡大のきっかけをつくり、同年に圧倒的世界シェア No.1 を獲得しました。その後もプロ向けの「EOS-1D」シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた「EOS 5D」シリーズなど、エポックメイキングな製品を提案し続けています。

そして 2018 年 10 月には、撮影領域のさらなる拡大を実現する次世代のイメージングシステム「EOS R SYSTEM」を立ち上げ、初号機となる「EOS R」、世界初の 8K 動画撮影機能を搭載した「EOS R5」（2020 年 7 月発売）や、卓越した動体捕捉性能と連写性能を発揮する「EOS R3」（2021 年 11 月発売）、小型・軽量のエントリーモデル「EOS R100」を発売するなど、ラインアップを拡充しています。また、2021 年 12 月には、VR 映像撮影システム「EOS VR SYSTEM」を立ち上げるなど、将来に向けた新しい映像表現の可能性を追求し続けています。



EOS 650
(1987 年 3 月発売)



EOS-1D
(2001 年 12 月発売)



EOS Kiss Digital
(2003 年 9 月発売)



EOS R
(2018 年 10 月発売)



EOS R100
(2023 年 6 月発売)

< RF / EF レンズシリーズについて >

1987 年 3 月に EOS とともに誕生した EF レンズは、1995 年に「IS」を搭載した「EF75-300mm F4-5.6 IS USM」、2001 年に「DO レンズ」を搭載した「EF400mm F4 DO IS USM」、2008 年に「SWC^{※1}」を施した「EF24mm F1.4L II USM」を発売するなど、世界初となるさまざまな技術を採用してきました。また、2018 年 12 月には、世界初^{※2}となるズーム全域で開放 F 値 2 の明るさを達成した標準ズームレンズ「RF28-70mm F2 L USM」を発売し、2023 年 5 月には、高画質と優れた機動力を両立した大口径望遠ズームレンズ「RF100-300mm F2.8 L IS USM」を発売しました。

現在では、焦点距離 5.2mm の超広角から 1200mm の超望遠までをカバーする RF / EF レンズに加え、映像制作用の「EF シネマレンズ」を含め、合計 115 種類の豊富なレンズのラインアップを形成しています。各種ズームレンズ、手ブレ補正機構搭載レンズ、大口径レンズ、マクロレンズ、VR レンズ、さらにはアオリ機能を搭載した TS-E レンズなど豊富な機種を揃えることで、お客様の多様なニーズに応えています。



EF75-300mm F4-5.6 IS USM
(1995 年 9 月発売)



EF400mm F4 DO IS USM
(2001 年 12 月発売)



EF24mm F1.4L II USM
(2008 年 12 月発売)



RF28-70mm F2 L USM
(2018 年 12 月発売)



RF100-300mm F2.8 L IS USM
(2023 年 5 月発売)

※1. Subwavelength Structure Coating。高い反射防止効果を生む特殊コーティング。

※2. 35mm フルサイズに対応した標準ズーム域をカバーするオートフォーカス対応デジタルカメラ用交換レンズとして。（キヤノン調べ）